

# 遊びがいっぱい 学びがいっぱい 萌がいっぱい “ながはまっこ”

長浜市の就学前教育では、健やかで心豊かな子ども「生きる力の基礎を身に付けた子どもの育成」を目標に、この時期に身につけたい3つの力(まなびの力・からだの力・かかわりの力)を「生きる力の基礎」として位置づけ、この3つの力をバランスよく伸ばし、小学校教育からの「生きる力」に繋げていきます。

## 生きる力



## ～まなびの力～

自分で考え、意欲的に学べる力



## ～からだの力～

健康な心と体で生活できる力



## ～学校に行くまでに 生きる力の基礎を身に付けよう～

乳幼児期(0～5歳)は人として生きるための「根っこ」が培われる重要な時期です。特にこの時期に、身近な大人に十分に愛されることで、人に対する愛情や信頼感が育まれます。また、子ども自らが身近な自然やモノ、人などの様々な環境に関わり、夢中になって遊びを創造する楽しさを味わう中で、豊かな心情・意欲・態度・基本的な生活習慣など、人間として一生をより豊かに生きていくための基礎を身に付けていきます。



## ～かかわりの力～

相手の思いや状況がわかり、楽しく活動し、協力できる力



## 主な取組み その①

体と心を育てます！～運動あそびの充実～

自然を生かした体験活動や集団あそび、運動あそびプログラムなどの様々な体を使った活動を通して、基礎的な体力・運動機能の向上や人と関わる力を育てます。



## 主な取組み その②

豊かな言葉を育てます！～読み聞かせの推進～

絵本やお話しあそびなどを通じた人同士のふれあいのなかで、想像力や言葉の表現・意味の理解、聞く力など、言葉の力やコミュニケーション能力を育てます。



## 家庭で大切にしてほしいこと

0歳



乳児期



0～6ヶ月

首が座り、手足の動きは活発に。  
基本的信頼関係が育つ時期

赤ちゃんにも、何が起きているのかわかるように、「抱っこするよ」、「おむつ替えるね」と伝えて安心につながるようにしましょう。

6ヶ月～1歳3ヶ月

お座り、はいはい、伝い歩きを獲得。  
周りの物や人に関わろうとする時期

身近なお家人との安心できる関係づくりが大切です。その後の社会性の発達につながります。子どもとしっかりと愛着・信頼関係を築きましょう。

1歳3ヶ月～2歳

歩行が自立して生活空間が広がり、言葉を話し始める時期

自分の嫌な気持ちが伝えられずに泣いたり、友達を「押す」「たたく」といったことをしたりすることもありますが、それも子どもの気持ちの現れです。そういう気持ちを受け止め、してはいけないことを伝えましょう。

3歳

3歳

体の基礎的能力がつき、依存から自立へと移行する時期

「もっと遊んでいたいけれど…(片づけなくちゃ)」。葛藤や友達とのぶつかり合いをたくさん経験しておきたい時期。気持ちを受け止め、気持ちが切り替えられるようにしましょう。

大きくなるということは…  
世界が広がるということ！



園では「生まれてきよかったです」、「大きくなって嬉しいな」と感じられるように、みんなでお祝いする誕生会を大切にしています。